

多面的な支援制度を考究する必要がある。

◎生活環境の向上対策について

質問▶生活環境向上政策の中でも特に熱中症対策としてクーラーの個人購入と設置に対する支援ができないか伺う。

町長▶近年、夏場の気温が上昇し、熱中症対策が必要な状況と認識している。

個人のクーラー設置支援を内部で検討したい。また、夏の暑さを避けるため、無料で利用可能なクーリングシェルターの指定も検討を進めたい。

質問▶町職員の職場環境改善や災害時の避難場所になることを考えると、早急に役場庁舎への冷房設備設置が必要ではないか。

町長▶役場庁舎は広さや電力の問題から全面的な改修となり、高額な費用を要することが想定される。

今後はスポット的な冷房設備の設置や現在の設備を活用した冷却方法などを考慮し、検討したい。



深澤 博 幸

・幌延町地図情報更新事業について
・町内区域字幌延区域の変更に

◎幌延町地図情報更新事業について

質問▶昨年度から実施の地図情報事業の進捗状況と事業内容は。

角山農業委員会事務局長

平成12年度から平成13年度で初期整備。その後、平成26年度から平成28年度に

一度、地図情報事業更新を行い、パイパスや送電網の整備、土地利用の変更など、

その後の情勢を反映させる目的として3か年で情報更新。更新1年目は幌延、問

寒別市街の航空写真及びオルソ画像作成、2年目は町内全域の地形図作成、3年

目は幌延、問寒別市街の航空写真撮影、オルソ画像作成、地形図作成、ハードウ

エア更新について3か年での実施を計画。

進捗状況は、令和6年9月6日、町内全域の航空写真撮影、位置、面積、距離



幌延市街地区の航空写真

を正確に測量可能なデジタル化したオルソ画像の作業を予定しており終了。令和7

年度は、標高や土地の起伏について等高線を用いた地形図の作成予定。本年度1

月30日、完了に向け、作業が順調に進んでいる。

質問▶農業委員会が幌延町地図情報更新事業の所管になるのか。

角山農業委員会事務局長

農業委員会所管事務でシステムを利用している。

質問▶この事業はいつから始まり何年ごとに更新するのか。

角山農業委員会事務局長

更新時期は明確に定めていないが、その後の土地利用などに係る情報変化を反映するため、平成26年度から平成28年度、前回更新から10年程度。

質問▶3か年の総額、国の補助金はないのか。

角山農業委員会事務局長

1年目、1千856万8千円、2年目、2千431万円、3年目、2千330万円。総事業費6千617万8千円。国の補助金メニューはない。

◎町内区域字幌延区域の変更について

質問▶町内住所は昭和34年4月1日に施行以来、現在の呼び名で経過。その中に字幌延が点在し、分かりにくさ、不便、イメージダウンがある。字名区域と町内会区域をどのように区分されているのか。

町長▶字名区域と町内会区域の明確な関連性はなく、

特定はできない。

質問▶過去に書類、文書などの誤配、返送のトラブルはなかったのか。

町長▶字幌延が広域であるに起因するトラブルなどなかったと認識している。

質問▶将来に向けて変更、改善する考えは。

町長▶個人の財産や戸籍、住民登録など影響が多岐にわたることから、社会的影響と効果を十分に検討し、慎重に行う。これまで字名への意見はなく、今後変更する考えはないが、町民の声が大きくなった際には検討したい。



問寒別市街地区の航空写真